

人間健康学部 健康栄養学科							
氏名	小澤 多賀子	職名	准教授	専攻分野	スポーツ医学	学位名	博士（スポーツ医学）
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p><b>【研究論文】</b></p> <p>小澤多賀子、田中喜代次、藪下典子、清野諭、大森葉子、大田仁史、「介護予防ボランティア活動に従事する地域在住高齢者の活力年齢」、『健康支援』、第16巻、2号、日本健康支援学会、2014年9月（共著）</p> <p>小澤多賀子、田中喜代次、清野諭、重松良祐、大森葉子、大田仁史、「高齢の介護予防ボランティアによる体操普及活動の有益性」、『健康支援』、第17巻、1号、日本健康支援学会、2015年2月（共著）</p> <p>小澤多賀子、田中喜代次、栗盛須雅子、清野諭、小室明子、大田仁史、「高齢ボランティアによる介護予防体操の普及活動が要介護認定状況に及ぼす影響」、『厚生 の指標』、第64巻、第13号、厚生労働統計協会、2017年11月（共著）</p> <p>小澤多賀子、栗盛須雅子、田中喜代次、須能恵子、小室明子、富田敦也、大田仁史、「高齢のボランティアによる介護予防体操普及活動と健康寿命との関連について」、『日本社会医学会』、第37巻、1号、社会医学研究、2020年1月（共著）</p> <p>小澤多賀子、栗盛須雅子、黒江 悦子、今絵理佳、古澤綾、大川沙織里、矢野淳大、田中喜代次、大田仁史、「高齢ボランティアによる介護予防体操普及活動と活動効果指標との関連性」、『厚生 の指標』、第70巻、第1号、厚生労働統計協会、2023年1月（共著）</p>							
最近5年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p><b>【研究論文】</b></p> <p>水島諒子、笹井浩行、中田由夫、小澤多賀子、前田清司、田中喜代次、「住民主導による成人肥満者を対象とした減量支援プログラムの実行可能性」、『健康支援』、第20巻、2号、日本健康支援学会、2018年9月（共著）</p> <p>小澤多賀子、栗盛須雅子、田中喜代次、須能恵子、小室明子、富田敦也、大田仁史、「高齢のボランティアによる介護予防体操普及活動と健康寿命との関連について」、『日本社会医学会』、第37巻、1号、社会医学研究、2020年1月（共著）</p> <p>曾我部夏子、岡田昌己、小澤多賀子、「女子サッカー観戦者のコンディショニング管理に関する意識調査」、『駒沢女子大学、研究紀要』、第4号、駒沢女子大学、2022年3月（共著）</p> <p>栗盛須雅子、福田吉治、星旦二、石井麻美、松本敦子、小澤多賀子、黒江悦子、矢野淳大、大田仁史、「介護予防事業の包括的評価指標としての年齢調整 WDP—要介護認定者数を用いた「質」を含む高齢者健康指標による評価および可視化—」、『厚生 の指標』、第69巻、第4号、厚生労働統計協会、2022年4月（共著）</p> <p>小澤多賀子、岡田昌己、曾我部夏子、「女子中高生アスリートにおけるヘルスリテラシーと食生活の意識および体調に関する調査」、『駒沢女子大学、研究紀要』、第29号、駒沢女子大学、2022年12月（共著）</p> <p>小澤多賀子、栗盛須雅子、黒江 悦子、今絵理佳、古澤綾、大川沙織里、矢野淳大、田中喜代次、大田仁史、「高齢ボランティアによる介護予防体操普及活動と活動効果指標との関連性」、『厚生 の指標』、第70巻、第1号、厚生労働統計協会、2023年1月（共著）</p>							
<p><b>【著書】</b></p> <p>『健幸華齢のためのスマートライフ』サンライフ企画、2019年9月（共著）</p>							

『高齢者体力づくり支援士 マスターコース【第3版】』公益財団法人体力づくり指導協会、2021年4月（単著）

#### 【学会発表】

「生涯にわたるスポーツ活動への提言～右肩下がりの生涯スポーツ活動を考える～生涯にわたり、誰もが運動・スポーツを楽しむことができる社会づくりに向けた取り組み」、第74回日本体力医学会シンポジウム、2019年9月、茨城（共同）

「住民主体の介護予防体操普及活動と介護給付費との関連～茨城県発シルバーリハビリ体操指導士養成事業の可能性～」、リハビリテーション・ケア合同研究大会金沢2019、2019年11月、石川（共同）

「シルバーリハビリ体操普及活動と介護給付費との関連～2025年に向けた住民主体の介護予防の取り組み～」、第23回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会、2019年12月、茨城（共同）

「地域在住高齢ボランティアによる介護予防体操普及活動と活動効果指標との関連」、第80回日本公衆衛生学会総会、2021年12月、東京（共同）

「「質」を含む高齢者健康指標、年齢調整WDPによる介護予防事業の包括的評価と可視化」、第80回日本公衆衛生学会総会、2021年12月、東京（共同）

「COVID-19感染拡大の影響を受けた住民参加型の介護予防事業と地域の要介護認定状況との関連」、第9回日本介護予防・健康づくり学会大会、2022年3月、Web開催（共同）

「成長期女子アスリートへのお弁当提供を利用した食育活動」、第10回日本食育学会学術大会、2022年6月、昭和女子大学（共同）

「Relationship between Female Senior High School Baseball Members' Somatotype Recognition and Food Awareness」、The 8th Asian Congress of Dietetics、2022年8月、Pacifico Yokohama（共同）

「成長期の女子トップアスリートにおける食生活に関する情報収集についての調査」、日本スポーツ栄養学会第8回大会、2022年9月、オンデマンド（共同）

「47都道府県と茨城県の5年間の介護予防事業の包括的評価指標としての年齢調整WDPの変遷と地域間比較」、第63回日本社会医学会総会、2022年8月、名古屋大学、オンライン（共同）

「地域在住高齢ボランティアによる介護予防体操普及活動と活動効果指標との関連性」、第81回日本公衆衛生学会総会、2022年10月、YCC県民文化ホール、他、オンデマンド（共同）

「新型コロナウイルス感染症流行下の住民参加型の体操普及活動と介護認定状況との関連」、第81回日本公衆衛生学会総会、2022年10月、YCC県民文化ホール、他、オンデマンド（共同）

#### 【その他】

「スマートエクササイズ講習会」、公益財団法人日本スポーツ協会、2019年1月、茨城

「健幸華齢のためのスマートエクササイズ講習会」、岡山県・総合型地域スポーツクラブ岡山協議会、2020年2月、岡山

「住民が住民に伝える「シルバーリハビリ体操（介護予防体操）」×「健康紙芝居（健康教育）」で目指

す健康長寿の延伸」、住友生命健康財団スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム、2020年4月～2022年1月、茨城

「稲城市介護予防教室、健康フォローアップ事業、生活習慣重症化予防事業」、駒沢女子大学健康栄養相談室、2021年6月～現在、東京

「せたがや元気体操リーダー研修」、講義「健幸華齢のためのスマートライフ」、世田谷区保健センター、2022年4月

「シルバーリハビリ体操を活用した包括的地域リハビリテーションの展開」、令和4年度茨城県ボランティア・市民活動推進事業費助成金、茨城県社会福祉協議会、2022年8月～2023年3月、茨城

「高齢者体力づくり支援士資格講習会」、講義「高齢者のウォーキングエクササイズ」、2022年9月、2023年3月、神奈川

**【学会等および社会における主な活動】**

NPO 法人日本健康加齢推進機構、理事、2016年10月～現在に至る

日本健康支援学会、評議員、2017年4月～現在に至る

調布市、つながり創出による高齢者の健康増進プロジェクト～CDC（調布・デジタル・長寿）運動～、プロジェクトメンバー、2021年9月～現在に至る